

学部学科適性試験

実施学部	文学部
実施学科	哲学科
試験時間	75分
試験概要	哲学への関心および読解力・思考力・表現力を問う試験

(この問題冊子は7ページ，3問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙1ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し，所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。
5. マーク式の解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 記述式の解答は，各解答欄にていねいに記入すること。数字，ローマ字については，1マスに2字とする。
8. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消したうえで，消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
10. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

問題 I 以下の設問(1)～(7)について、正しい解答を a, b, c, d のなかから 1つ 選択し、その記号を解答欄にマークせよ。

- (1) 原子論を説いたことで知られる古代ギリシアの哲学者は誰か。
a. デモクリトス b. パイドロス
c. エウクレイデス d. パルメニデス
- (2) 北魏の時代に道教の教団をつくり、仏教に対抗をした人物は誰か。
a. 王重陽 b. 寇謙之 c. 欧陽脩 d. 顧愷之
- (3) 親鸞の著作であるのは次のうちどれか。
a. 『梁塵秘抄』 b. 『選択本願念仏集』
c. 『正法眼蔵』 d. 『教行信証』
- (4) 16世紀にスイスのジュネーヴで活動し、予定説をとらえた宗教改革者は誰か。
a. メランヒトン b. ミュンツァー
c. カルヴァン d. ツヴィングリ
- (5) 17世紀にイギリスで活躍した哲学者ロックの著書であるのは次のうちどれか。
a. 『方法序説』 b. 『人間知性論』
c. 『人間本性論』 d. 『人間不平等起源論』
- (6) 1920年代に国際連盟事務局次長として活躍し、英文の著書『武士道』がある人物は誰か。
a. 片山潜 b. 矢内原忠雄 c. 新渡戸稲造 d. 賀川豊彦
- (7) ハイデガーの著作であるのは次のうちどれか。
a. 『時間と自由』 b. 『時間と物語』
c. 『存在と時間』 d. 『存在と無』

問題Ⅱ 以下の文章を読んで、1～5の問いに答えよ。文字数には句読点を含める。
(出題にあたって表記を一部改めた。)





(九鬼周造「驚きの情と偶然性」(1939年)より。文章と漢字・かなづかいの表記は、九鬼周造『人間と実存』岩波文庫、2016. によった。)

- 問1 下線部㉗, ㉘, ㉙の漢字の読みをひらがなで記せ。
- 問2 下線部㉑ とは、どのようなことか。90字以上, 130字以内で説明せよ。
- 問3 下線部㉒の亀での実験という具体例について、文章の著者はそこからどのようなことがわかれると解釈しているか。40字以上, 60字以内で説明せよ。
- 問4 下線部㉓は、どのようなことか。90字以上, 130字以内で説明せよ。
- 問5 文章の第七段落
は、この文章の論の展開において、どのような役割を果たしているか。40字以上, 60字以内で説明せよ。

問題Ⅲ 以下の文章を読んで、1～2の問いに答えよ。文字数には句読点を含める。
(出題にあたって表記を一部改めた。)

藤子・F・不二雄「自分会議」(藤子・F・不二雄異色短編集1、『ミノタウロスの皿』小学館文庫, 1995年, 55頁)



(永井均『マンガは哲学する』「第4章 時間の謎 5 自分会議の決定を尊重すべきか
——藤子・F・不二雄『自分会議』岩波現代文庫, 2009, p.134-137.)

問1 下線部㊦, ㊧, ㊨のカタカナを漢字に直せ。

問2 文章に関連する次の3つのテーマのなかから1つを選択し, 解答欄の最初の〔 〕内に自分の選択したテーマの記号を明記したうえで, 350字以上, 450字以内, 横書きで, その選択したテーマについて自由に論述せよ。

- a. 過去や未来の自分は一種の他人であるということについて
- b. 利今主義と倫理について
- c. マンガという表現形式が得意とする時間表現と, 苦手とする時間表現について(たとえば, 小説との比較, 舞台演劇との比較, などの観点から)

